

第4回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 25日(木) 7時00～9時30		
市町村名	穂高町	グループ名	1
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

司会 前回意見交換会記録の確認をお願いします。

司会 前回の質問について、まず町からお願いします。

町 問答集についての回答は、

- ・作成者は、長野県側ルート促進協議会事務局(大町市建設課)
- ・事務局の中で自主的に作った
- ・国、県の資料や、説明会における県の説明を参考にして作った
- ・作ることを役員会の中で相談した 役員会に役員名は、下記の通り
(省略)
- ・平成13年9月に現在のものを作成

「穂高町内の交通をよりスムーズにしたり、住民にとって使いやすくしたりするため、現道を整備したり新しく造ったほうが良いところを道路建設課として教えて欲しい」ということについては、

- ・町内の信号交差点は38箇所あり、全て3車線になるのにこしたことはないが、中でも特に3車線にする必要があるとおもわれる交差点は、
国道・・・白金の陸橋の交差点、穂高駅通りの国道の交差点
県道・・・丸山酒店前の交差点、安曇橋交差点の南側
町道・・・大型農道の富田交差点
- ・歩道の整備が必要なところは
穂高北小東側道路(今年度から説明会を開く 3400m)
南小周辺道路(昨年度から整備している ほ場整備の中でやっているところも)
東中周辺道路
牧 草深の以前のバスの終点～山崎まで要望がある
- ・東西を結ぶ道路で、5本の県道は幹線道路なので拡幅など整備の必要があるのは
小岩岳穂高線 富田橋を通っていくところ 改良中
塚原穂高線 柏矢町駅前 都市計画で整備中
柏原穂高線 改良中
穂高明科線 常盤橋は架け替え計画中
鍋割穂高線 耳塚～青花見 歩道や車道の拡幅を要望中

第4回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 25日(木) 7時00～9時30		
市町村名	穂高町	グループ名	1
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

- ・東西を結ぶ道路で、町として計画中のものは駅前よりオリンピック道路へ延長 約2km弱で、現在のお金で考えると費用は20億円ほど
- ・身近な生活道路整備(拡幅、改良、舗装、歩道設置)については、要望が88線路あり、全部整備すると60億円ぐらいかかる。
今年度は5億円。13路線は整備が継続中、11路線は新規で行う。

司会 町の回答(問答集)について質問を

問答集を自主的に作ったというのは? 会議を開催したのか。

町 事務局が役員10名にはかって作った。会議開催したのかわからない、電話連絡でしたかも。どちらかそこまで聞いていない。役員会が了承。

司会 税金の使途等の点で、大切な問題。検討するか、どうか。

○促進協議会に出された費用の使い道はその団体の自由では、

県 広く考えれば税金だ。

○白紙から考え直そうという時に、行政機関から促進の為の問答集を出すのは、住民の感覚からすると不誠実。県として抗議しないのか。

県 県として今までのやり方は置いておき、知事は白紙でと言っている。作った人は、大北の困っているものを何とかしたいという気持ちからでは、

○問答集を読むと、説明会時の質問や県の答えなどがあるが、県はかかわっていないか。

県 質問に答えるようなことはあっても、どこの県建設課もかかわってないと思う。

○大町の建設課は仕事として携わったのではないか。

○県から協議会に対して何らかの表明をして欲しい。

県 グループからの要望として伝えておく。

司会 町の回答(町内の交通について)について質問を

○山麓線を何とかして欲しい。農業道路と分けて欲しい。

県 そのために、地域高規格道路を造る。

○地域高規格道路を造ったとしても、山麓線など現道は生活に必要な道路なので、車も沢山通る。また、地域高規格道路のインター付近には店も出来、現道も混む。そうなったらまた新しい道路を造るでは、きりが無い。どこかで折り合いをつけなくては行けない。

○都市計画道路が足りないと思うが、町づくりの中になぜ入ってこないのか疑問だ。都市計画道路になると強制力があり、整備しやすいのではないか。

都市計画自体町は放棄している。

第4回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 25日(木) 7時00～9時30		
市町村名	穂高町	グループ名	1
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		
町	都市計画は昭和30年代につくったものが、そのままになっている。一度つくると変えられない。都市計画道路には色々な点があり、町としては今はつくることは考えていない。		
司会	県への質問について、県財政課からの回答を。		
県	現在大切な予算編成中でこの会への欠席をお詫びしたいとのこと。松本系魚川連絡道路については年度ごとの予算額、事業内容が不明確なので分からない。仮に基金が枯渇しても、財政状況の許す範囲で予算措置を行う。		
	○記録にとどめにくいし、大切なことなので、読み上げた説明をコピーしてもらいたい。		
県	財政課から読み上げてくれとの依頼だった。		
司会	この質問はこのまま今回も提出するので、次回、係の方が出席の上、説明してもらいたい。そのまま要望します。		
司会	調査データを新しくやり直す要望について、県の回答を。		
県	平成6年と今の段階では道路状況が違うが、新資料を出せと言われても、調査区間に指定された段階での資料はそれだけ、今の段階ではこれだけだ。今は立ち止まっている段階だから。		
	○新資料は建設が決まらないと予算がつかないのでは。交通量調査が2月の予算でとれるのか。		
県	11年度10月に調査しているので、20年先の人口予測と合わせ机上でデータが出来るが、全く新しいデータとなると、予算額が違う。		
	○これからの予定が分からないと、どの時点で調査をやり直すかわからない。		
県	現在、道路はどうあるべきか、将来の道路はなど、考え方を原点に戻して皆さんの意見を聞き、まず穂高のグループの合同意見報告会を開きたい。次は地区別5町村の代表からの報告会を開く。その次ははっきり決めていない。		
	○知事は出られるのか。		
県	交換会のデータを見て、知事がどうするか決める。		
	○造る前提でしか調査をしないのはおかしいのでは。		
司会	「調査のやり直しを希望します。その際、建設ありきの、造るための理由付けの調査でなく、住民も入れるなどした公平な立場での調査をお願いします」という、資料提供依頼用紙に書かれた言葉を残しておくことにします。また、出て来た資料は今とても読み切れないが、とても大事なものなので、次回まで保留し、我々の宿題にしましょう。		
司会	今回のメインテーマ、代替案等を示すということに移ります。		
	○地下方式にしてもらいたい。用地回収費用がいらなくなるから。		

第4回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 25日(木) 7時00～9時30		
市町村名	穂高町	グループ名	1
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

○今ある道路や、河川を有効利用してもらいたい。

- ・山麓線の福田果樹園南側の道路を拡幅する。
- ・サンクラブ横のスケッチロードは、乳川沿いに延ばせる。
- ・鳥川北側道路も利用できる。ワシントン靴店から国道へ通じるように、河川の堤防を利用する。
- ・流通ばかりに重きを置く必要はない。歩道や自転車道を造るなど生活を重要として考えてほしい。
- ・北の方にどうしても必要とあっても、4車線はいらない。県の借金を増やさないで欲しい。
- ・北の方の希望で、病院に行く利便性については、救急救命士の乗った救急車を増やす方が良い。
- ・小さいことを地道にやって欲しい。

○地域高規格道路について、国と県のとらえ方が違うことが国への電話照会から分かった。それを含めて、代替案を作った(A3の代替案配布)

- ・安曇野や穂高町の田園風景を大事にしたいという思いは、皆、共通。また、大町以北の交通事情も考えた代替案。
- ・地域高規格道路は国の補助事業であっても、県の一般財源からの出費が20%にもなるが、一般財源は様々な分野にまわすことのできるお金、将来へ向けての準備にこの財源を公共投資すべき。
- ・県と国の地域高規格道路の説明に違いがある。国によると、地域高規格道路は既存の道路を整備する、また、必要なところだけ高規格道路を造るというので良いということ。住民は県からこのような説明は受けてこなかった。県には時代背景を配慮した上で柔軟に物事を対処して欲しい。
- ・以下の点で、具体的な代替案を考えた。

農業を守るために農耕車優先の規整をきちんと

穂高町内の交通をよりスムーズにしたり、住民にとって使いやすくしたりするため、現道を整備

車の数を減らす取り組みを行う

堀金～大町までの山麓線を、滞在型の観光道路として整備する。できれば、日本の観光地の道路のモデルとなるように豊科インターから北へのスムーズな交通について

司会 力作を出してもらったので、これをたたき台にしてはどうか。補足したり、意見を足したりして。代替案も出すし、道路が必要と言う人の意見も出す。

○今ある5本のままで本当に良いのか話し合う必要がある。

○自分は新しい道路は必要ないという意見。

○国の地域高規格道路についての見解の、裏をとる必要があるのでは。

第4回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 25日(木) 7時00～9時30		
市町村名	穂高町	グループ名	1
メンバー	(:司会、 :記録者)		

○国(関東地方建設局)のK氏に、穂高町の発表会の時に来てもらってはどうか。

○代替案資料に、電話で聞いた日にちを入れておくだけでも効果はある。

県 国土交通省のホームページに出前講座というのがある。アクセスすれば・・・。

○K氏は、県を通して申し込んでもれば、実現できないことではないと言っていた。

県 感想を言わせてもらおうと、県は『長野県の背骨をつくりたい』という考えで、松本糸魚川連絡道路を進めて来ている。国は地域高規格道路を『早く整備するためには 現道を利用して』ということ。

司会 いつまでにこの報告をつくれれば良いか。

県 12月初旬。

司会 12月までに、あと1、2回の会が必要かもしれません。

次回は11月8日(木)PM7:00～。欠席者には次回日程と、今回配布の資料、B氏の代替案をとり町役場建設課へ行くように連絡をお願いします。